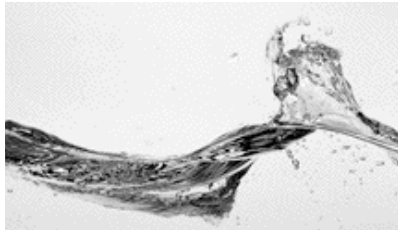
平成21年度　決算報告　その②

上水道事業会計決算

市が行っている上水道事業は、民間の企業と同じように独立採算制によって運営しています。

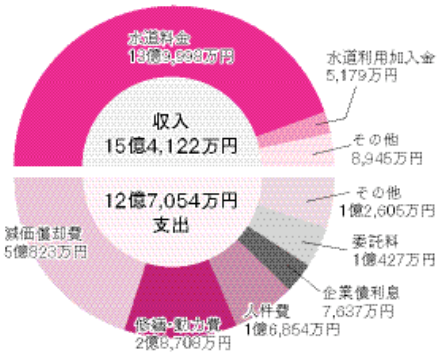
ここでは、平成21年度の上水道事業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されましたので、概要をお知らせします。

水道業務課
☎(82)4626

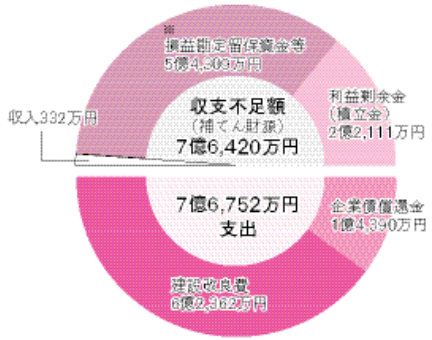


平成 21 年度上水道事業会計決算の内訳（消費税込み）

（事業の管理・運営に関する収入支出）



（施設の建設・改良などに関する収入支出）

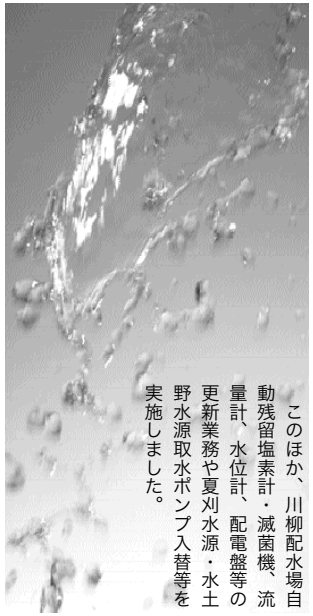


※損益勘定留保資金とは、収益的支出で現金支出を伴わない費用（減価償却費等）です。

給水人口や総配水量などの推移

区　分	平成19年度	平成20年度	平成21年度
給水人口　（人）	85,437	85,911	85,680
給水戸数　（戸）	33,915	34,676	34,184
総配水量　（㎥）	12,663,342	12,621,451	12,449,553
総有収水量　（㎥）	10,508,425	10,466,011	10,294,065
有収率　（%）	83.0	82.9	82.7
給水原価　（円／㎥）	111.1	108.1	112.2
供給単価　（円／㎥）	130.4	130.7	129.5

※有収率は、総配水量に対する総有収水量（実際に使用した水量）の割合で、比率は高いほどよい。
※人口は、各年度の３月31日現在の数値で算出しました。



平成21年度の業務状況

平成21年度は、老朽化の度合いに応じた設備の更新、改良等を行うなど、施設機能の維持向上に努めました。

給水人口及び一人当たりの使用水量は減少しましたが、経営成績や財政状況は、経営の健全性、安定性が維持されています。

また、事務事業の効率化に努めるとともに、水道料金については、平成15年度からの5%割引に更に3%を加え、平成22年1月検針分から8%割引を実施しました。

建設改良事業の概要

管路整備は、市内全域にわたり、配水管布設及び布設替工事を延長4,097.9㍍実施しました。

このほか、川柳配水場自動残留塩素計・滅菌機、流量計、水位計、配電盤等の更新業務や夏刈水源・水土野水源取水ポンプ入替等を実施しました。

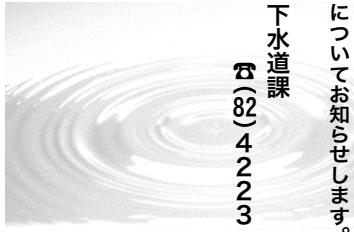
平成21年度　決算報告　その③

公共下水道事業特別会計決算

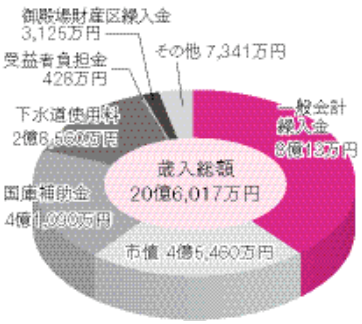
市の公共下水道事業は、昭和63年に着手してから22年が経過し、ようやく御殿場処理区全体の約60%の整備が終わりました。新たに国道138号より北側市街化区域の管渠とポンプ場整備工事に着手しています。交通関係等、大変ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

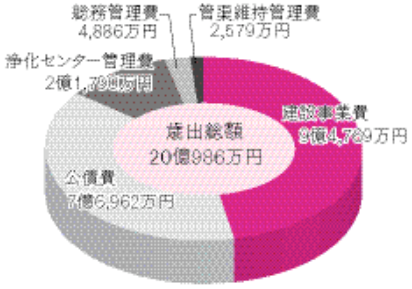
ここでは、平成21年度の決算及び整備状況についてお知らせします。

下水道課
☎(82)4223



平成 21 年度公共下水道事業特別会計決算の内訳





整備面積や接続人口などの推移

平成20年度	
整備済面積	520.5ha
接続可能人口	25,782人
接続人口	22,044人
接続率	85.5%
有収水量	2,190千㎥
使用料収入	2億7,046万円
汚水処理コスト	450 円／㎥

平成21年度	
整備済面積	533.3ha
接続可能人口	25,782人
接続人口	23,279人
接続率	88.0%
有収水量	2,168千㎥
使用料収入	2億8,560万円
汚水処理コスト	467 円／㎥

※汚水処理コスト＝{維持管理費＋市債償還費}÷有収水量(使用料対象水量)
※人口は、各年度の３月31日現在の数値で算出しました。

経営方針と御殿場第一中継ポンプ場の建設について

経営方針

事業の効率化を図るとともに、区域内の皆さんのご協力をいただき下水道への接続率が上がるように、経営の安定化に努めていきます。

御殿場第一中継ポンプ場

御殿場処理区の内、国道138号北側区域の地形勾配は、東北東に下がっています。この区域の汚水をまとめて浄化センターに圧送する必要があるため、中継ポンプ場を御殿場区に新たに建設しています。

▲平成24年３月完成予定の「御殿場第一中継ポンプ場完成予想図」